

# 令和6年度 淡路市 認知症地域支援推進員活動報告

## 認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：8名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
  - ・ 認知症の人と家族の相談支援
  - ・ 多職種協働研修
  - ・ 社会参加活動整備
  - ・ 家族介護者教室の開催
  - ・ 認知症に関する知識の普及啓発・地域作り

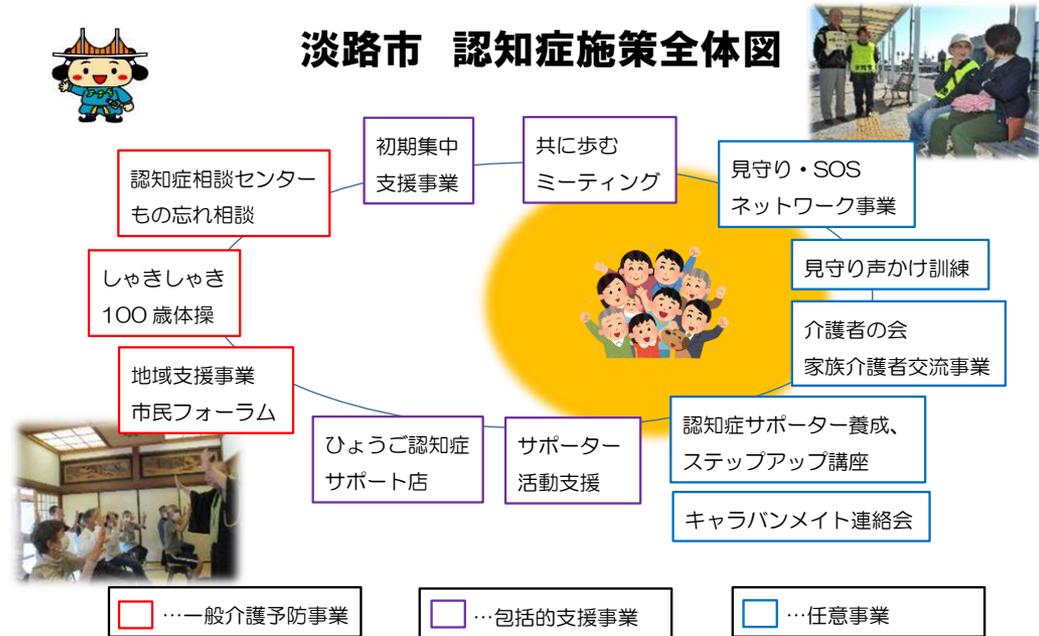
報告者氏名:井上詩織

# 淡路市 認知症施策全体図

## 認知症施策

(第9期介護保険事業計画)

- ① 認知症に関する正しい理解の普及啓発・  
本人発信支援
- ② 認知症の本人と一緒に取り組む地域づくり
- ③ 認知症予防への取組の推進
- ④ 認知症の早期診断・早期支援体制の充実
- ⑤ 高齢者等の見守り・SOSネットワークの構築



# 淡路市における地域共生社会・認知症バリアフリー実現にむけた取組

## ◎初期集中支援事業から

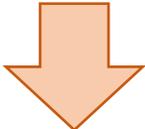
現在の自身の生活を振り返り、今後の生活や介護の見通しを持つことができたAさん。



生活に困らない。  
だけど何だか  
先が不安だな…

認知症の本人の思いに寄り添いながら、できることや必要なことを一緒に考える中でミーティングを企画し、定例開催へ。

## ◎共に歩むミーティングへ (認知症本人ミーティング)



Aさんは認知症を受容しながら、認知症であることを気にせず楽しく集える仲間ができた。



私は1人じゃない。  
まだまだできる  
ことがある。

特技を発揮し合ったりチャレンジをしながら、時にこぼれる認知症状や社会の目についての話題の共有に努めている。

自分に自信を取り戻したAさん。  
仕事も運転もやめ、友人と余暇を楽しむ新たな生活を送り始めた。



進行予防のためにもっと何かしたい。自分の役割や居場所がほしい。



Aさんの特技は調理。  
長年、病院の厨房で働いてきた。  
友人からも一目置かれている。

◎地域活動から



地域の人が集える場所を作りたいとカフェを開いた。でも料理はちょっと苦手…誰か手伝ってくれたらなあ。

一緒にやってみよう！



認知症の介護経験を地域に活かしたいという思いがあるBさん。認知症サポーター養成講座、認知症カフェ参加等を経て、認知症サポート店の登録を支援した。

AさんBさんの思いを確認し、一緒に調理ができる機会を提案した。Aさんの友人からも地域情報を集め、カフェでの調理と弁当販売が負担なくできるよう相談した。

# 令和6年度認知症地域支援推進員具体的活動報告

おうちカフェわ イベント  
ずいっと  
助っ人カフェ  
3月21日(金)  
昼定20食 (1時~)  
ちらし寿司作ります  
ちらし寿司定食(お吸物付き) 1650円  
ちらし寿司弁当(お吸物付) 600円  
おうちカフェわ  
おうちカフェわ  
ちいさいお茶室  
おまかせ



Aさんのサポートの  
ポイントについてB  
さんと相談継続。



給料なんていらない。  
Bさんのカフェは私の  
居場所。自分にできる  
ことがあって嬉しいよ。



Aさんってすごい！  
Aさんの活躍を通じて、  
地域の人が集ったり認知  
症について理解してくれ  
る人が増えたらいいな。

認知症の人が、病気のことでも気後れしたり楽しみを諦める様子を見ると、とても残念な気持ちになります。本人の意欲を呼び起こし、一緒に楽しみを求めて活動できることは、認知症地域支援推進員としてとても嬉しい経験です。今回のAさんとBさんのマッチングの活動が地域で認められ、今後の認知症の人の社会参加につながるよう支援をつないでいきたいです。